別紙

令和8年11月9日

神戸空港島の将来構想（土地活用等）に向けた
サウンディング型市場調査の結果

１．民間事業者数

61社（デベロッパー、金融、ゼネコン、空港関連企業、航空機関連企業、物流関連企業、観光関連企業、経済界・団体 等）

２．主なご提案・ご意見

（１）土地活用

- 空港との親和性が高い航空機関連産業（整備、部品製造等）に関する活用
- 小型航空機（ビジネスジェット等）に関する活用
- 神戸空港の国際化に伴う空港運営を支えるサービス機能に関連した活用
- 航空旅客や就業者の利便性向上に資する活用（宿泊機能等）
- 親水空間、海辺のロケーションを活かした賑わい創出による活用
- 目的型の集客施設による活用

（２）事業推進の課題

- 民間事業者の投資や参入を促進する事業手法の構築
- 航空機の安全な運航環境の確保（空港施設内の固定翼と回転翼の動線の分離等）
- 空港機能や受入環境の充実（CIQ（税関、出入国管理、検疫）の強化、空港運用時間の拡大等）

（３）アクセスへの期待

- 空港島と都心・ウォーターフロント地区へのアクセスの充実
- 空港島から西日本各地へのアクセスの充実（瀬戸内、大阪湾沿岸、京阪神地域等）
- 空港島内の回遊性向上

（４）その他のご提案・ご意見

- 航空分野に親しむ機会の創出や人材育成が必要
- 空港と港湾の物流機能を活かし、多様な物流ニーズへの対応（産業立地の競争力が向上）
- 空港島内のレジリエンスの強化（※）が必要
- GX（グリーントランスフォメーション）等の取組みが必要

（※）レジリエンスの強化：災害対応力の強化・事業継続性の確保